

難病医療従事者の教育・研修に関する研究

研究分担者 今井 富裕 国立病院機構 箱根病院 神経筋・難病医療センター

研究要旨

今後投稿される e-learning コンテンツを管理・編集する管理者側の画面と、e-learning で学ぶ受講者側の画面について、それぞれの機能を検討してプロトタイプを完成した。実証実験から管理者側の 1) アップロード機能 (テキスト、動画とも)、2) アップロードできる権限のログイン機能、3) マスター管理者と編集管理者の役割と権限、および受講者側の 1) ログイン登録、2) コンテンツの検索機能、3) コンテンツの動作、4) 視聴後のテスト画面、5) 受講証明書の発行画面に関して良好な操作性が確認された。

A. 研究目的

難病診療に携わる多業種の医療従事者の研修体制を構築するため e-learning の制作を試みてきた。e-learning のコンテンツを制作する上での基本方針は、難病診療に特化した内容であること、医師向けではないこと、令和 2 年度のアンケート調査結果を活用してテーマを決定すること、多職種教育・研修あるいは学会資格の認定研修のプラットフォームとして活用することに集約される。令和 4 年度は、本システムのプロトタイプを制作し、難病従事者の教育・研修のプラットフォームとしての実用性について検討した。

B. 研究方法

本 e-learning システムはスマホベースで構築され、1) 動画は横画面角にして、スマホで撮影し、パワポの MP4 など編集された上でアップロードできるように設計する、2) 動画にコメントをつける等の基本方針でプロトタイプの制作を行い、実証実験を繰り返しながら、令和 4 年度と令和 5 年度で段階的に機能が拡張する方針とした。その上で、管理側画面への権限の設定やログイン機能の整備を行った。受講者側ではログイン登録、検索、視聴、テストを行う際の利便性に重点を置いて設計した。

(倫理面への配慮)

動画制作にあたり、患者が登場する場合は匿名化を行い、個人が特定されないように配慮した。また、当該患者には文書で説明と同意を取得した。

C. 研究結果

管理側画面には、ラーニング動画のアップロード機能(簡単な情報入力で自動的にカテゴリー分類される様式)が設置された。アップロードができる権限としてマスター管理者(カテゴリー追加可能)とノーマル管理者が作られ、本システム全体を管理することが可能になった。受講側には、ログイン登録、ラーニング動画の検索、ラーニング動画の視聴、視聴後の簡単なテスト、受講数によりランク付け、ある項目のテストをクリアした際の称号の付与(将来的な認定証発行の原型)の機能を設置できた。

D. 考察

スマートフォン対応で簡便に効率的に学習できるコンテンツとしては、今回プロトタイプにアップロードした動画は容量が多いと考えられ、一つのテーマでも一回で短く完結できる内容に分割して e-learning コンテンツ (テキスト・動画とも) を制作する必要があると考えられた。受講者画面からログインし、テキストや動画を視聴した後、テスト画面や受講証明書を発行する画面を検証したが、それぞれのコンテンツに 1 対 1 で合致したテスト問題の作成が必要であると思われた。

E. 結論

本システムのプロトタイプが完成し、e-learning コンテンツを管理・編集する管理者側の画面と、e-learning で学ぶ受講者側の画面について検討することができた。今後はシステムに修正を加えながら実証実験を継続し、多職種の教育・研修のプラットフォームとしての機能を充実させる必要がある。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定含む)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

難病医療従事者の教育・研修に関する研究

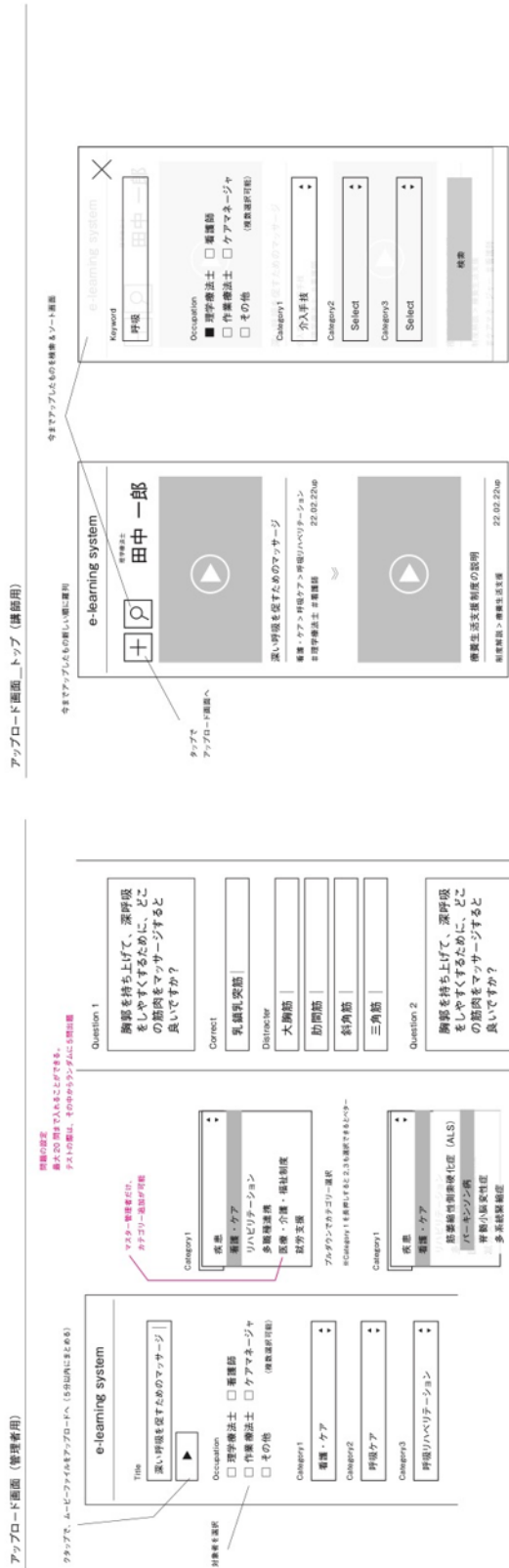
A. 研究目的

現在、難病診療に携わる多職種医療従事者の研修体制を構築するためe-learningの制作を試みている。今年度は昨年度までに考案したワイヤフレーム(フロント画面、ログイン画面、動画一覧画面)を原案としてスマートフォンに対応したシステムのプロトタイプを開発し、実際に試作したe-learningコンテンツをアップロードして本システムの操作性を検証した。

B. 研究方法

e-learningコンテンツを管理・編集する管理者側の画面と、e-learningで学ぶ受講者側の画面について、それぞれの機能を検討してプロトタイプを完成した。実証実験の第一相として、初めにPCから管理者としてログインし、新たにe-learningコンテンツ用を作成したテキストや動画をアップロードした。

図1. スマホ対応画面の基本構造



C. 結果と考察

今回の検証からは、管理者側からは、管理者側の1) アップロード機能 (テキスト、動画とも)、2) アップロードできる権限のログイン機能、3) マスター管理者と編集管理者の役割と権限、および受講者側の1) ログイン登録、2) コンテンツの検索機能、3) コンテンツの動作、4) 視聴後のテスト画面、5) 受講証明書の発行画面に関して良好な操作性が確認された。今後はシステムに修正を加えながら実証実験を継続し、多職種の教育・研修のプラットフォームとしての機能を充実させる必要がある。